
コ哀・新志短編集

みかポン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コ哀・新志短編集

【Nコード】

N4501H

【作者名】

みかポン

【あらすじ】

コ哀・新志の短編集。更新日未定です^^；

「志くん!?!?!?」(前書き)

これはコ哀・新志です。

苦手な方はBACK願います。

「志くん!?!?!?」

「ねえママ〜!名探偵コナンの再放送始まるよ〜!」

「志が呼ぶ。」

「一志とは新一と志保の子供だ。2人は6年前に結婚した。」

「一志は5歳。」

「ええ。テレビから離れてみるのよ〜。」

「志保はキツチンから話しかける。洗い物中なのだ。」

「分かってるよお。テレビに書いてるもん」

「志保が洗い物を終えテレビの近くにやってきた。」

「相変わらず工藤家のテレビは馬鹿でかい。」

「ねえママ、コナン君ってパパに似てるね!」

「え、ええそうね!」

「顔が引きつる志保。もちろんまだ昔に何が起こったのかなんて話していないのだ。」

「僕ね!最後の方以外ほとんど内容知ってるんだよ!」

「そうなの?」

「(この子いつ見たのかしら…?)」

「ねえねえママ!このコナン君ってパパなんでしょ?」

「何言ってるの!一志!そんなわけないでしょう!?!?」

「だって…パパが自分だって言ったもの!」

志保から黒いオーラが流れだす……………

「あなた……………」

「……………!!!!!!!!!!」

工藤家、いや米花町一帯にこの怒声は響き渡ったという。

〈数日後〉

「おお工藤君！すまないねえ。また来てもらって」

「いえいえ目暮警部。」

「ん？どうしたんだ、その顔のあさは。」

「あ、いやちよつと志保にやられちゃいました。」

「ケンカするほど仲がいい！いいじゃないか！」

「そうですよね。」

(いや、ケンカの原因があれじゃなあ……)

「志くん!?!?!?」(後書き)

「一応ギャグのつもりなんだけど…」。

テレビは離れてみましたよね!

(ハイ、ごまかしました)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4501h/>

コ哀・新志短編集

2010年10月15日21時33分発行